

ホンドタヌキ (学名: *Nyctereutes procyonoides viverrinus*)

[ネコ目 イヌ科 タヌキ属]



▲冬毛のホンドタヌキ



▲つがいでエサを探すホンドタヌキ

ホンドタヌキは、本州から九州の、人里から山中まで多様な環境に棲んでいる中型の哺乳類です。町内でも全域で見られる、とても身近な野生動物です。体型はずんぐりとしており、脚は短く、尾は太くふさふさしています。雑食性で、果実・どんぐり・穀類・昆虫・ミズミズなどをよく食べ、野ネズミ・鳥類・ヘビ・カエル・サワガニ・魚なども捕食します。

タヌキは一夫一婦制で、オスとメスが共同で子育てをし、ペアはパートナーが死ぬまで続きます。また、自分で巣穴を掘ることはなく、木の洞、アナグマやキツネの古巣、民家の床下などに営巣します。

驚いたときや危機的状況に陥ると、タヌキは「擬死」という行動をします。これは、刺激に対する本能的な反射で体が硬直し、自分では動くことが出来なくなってしまうものです。昔から人を化

かすと言われていたタヌキのこの行動から「ためき寝入り」という言葉ができました。

イヌ科のタヌキですが、脚が短く動きも俊敏ではありません。そのため交通事故に遭いやすく、町内でも事故に遭ってしまったタヌキをよく見ます。これからの季節、只見町では雪が積もり道路わきに壁ができます。この壁を登ることができず、車の前をどこまでも走り続ける姿を見ることもあります。そのような姿を見たら、苛立つことなく、逃げることでできるところまでゆっくり見守ってあげたいものです。普段、なかなか見ることのできない野生動物を、じっくりと観察するチャンスではないでしょうか。また、タヌキに限らず、車で走っていると動物が急に飛び出してくることは多いです。こういった動物たちのことも考えながら、ゆとりを持って安全運転を心掛けたいものです。

企画展

「伝統を編む人々～只見町とボルネオ島と」

期 間：2017年2月13日(月)まで開催

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム

座談会

「只見町の編む伝統を聞く」

期 間：2017年1月22日(日)午後1時30分～午後3時まで

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

CM大賞2016 只見「審査員特別賞」受賞!

KFB福島放送の「ふくしまの元気! 応援CM大賞2016」の審査会・公開収録が11月27日、郡山市で開催され、市町村のCM29作品の中から、只見町が「審査員特別賞」に選ばれました(大賞は会津美里町)。

収録した番組は12月24日に放送され、只見町のCMも年間30回放送される予定です。



▲(写真/只見CMの一幕) 作品タイトル「デンジャーゾーン自然首都・只見」、町観光まちづくり協会が作成し、農家さん(梁取地区)が熱演した

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています